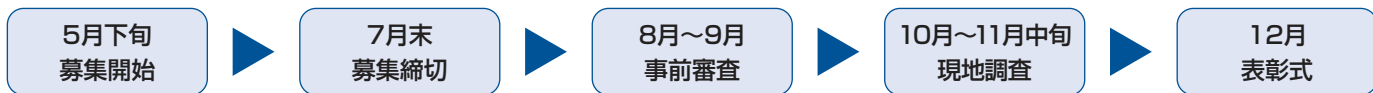


中部の未来創造大賞では次のような活動を表彰しています。

1. 住民、企業・学校、行政等が工夫して取り組んでいる地域づくりの活動で、以下に該当するもの
 - 生活・自然環境の保全を行っているもの
 - 景観の向上を行っているもの
 - 観光資源として活用しているもの
 - 地域づくりに関連した情報発信を行っているもの
 - 資源の再利用を行っているもの
 - 公共施設の整備にあたって、コスト削減等に有効な新技術、新工法の研究開発を行っているもの
2. 災害時の人命救助、復旧活動や防災に関する活動
3. 伝統的な建造物の保存、復興等を行っている活動

第18回「中部の未来創造大賞」の募集予定

- 募集期間(予定)
平成29年5月下旬～7月末 (詳細は、募集開始時にホームページに掲載します。)
- 応募条件
 - 長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5県内における活動を対象とします。
 - 自らが参加している活動であり、特許・著作権またはプライバシー等の権利を侵害しないものに限りま。
 - 資格、年齢等は問いません。
 - 再応募ができます。(但し、これまでの「中部の未来創造大賞」にて大賞を受賞された活動は除きます)
- 選考について(予定)
学識経験者等からなる表彰委員会により選考します。必要に応じて現地調査、面談等を行います。
- 賞(予定)
 - 大賞・・・1件 [賞状、盾、賞金10万円]
 - 優秀賞・・・3件程度 [賞状、賞金5万円]
 - 特別賞・・・中部経済連合会賞、中日新聞社賞



●第1～16回(平成12～27年度)の主な受賞活動

 住民部門	 企業・学校部門	 行政部門
和みの散歩道の会 ～高架下空間を活用した地域結び～ 和みの散歩道の会	地域を守る中学生 ～自分たちの町は自分たちで守る～ 岐阜市立三輪中学校	八穂環境学習教室 海部地区環境事務組合 八穂クリーンセンター
		



FUTURE CREATION 2016
中部の未来創造大賞
主催/中部の未来創造大賞推進協議会




中部の未来創造大賞 で

中部の未来創造大賞推進協議会事務局
国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 — TEL(052)953-8127
一般社団法人 中部地域づくり協会 業務管理部 — TEL(052)962-9455
URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/index.htm>

第17回「中部の未来創造大賞」について

「中部の未来創造大賞」は、地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするものです。第17回目にあたる今回は、3部門で33件の応募をいただきました。表彰委員会による審査の結果、大賞1件、優秀賞3件、特別賞2件が選考されました。本冊子は、これらの選考された活動の概要を紹介するものです。今後の地域づくりに広く役立てていただければ幸いです。

募集部門

- 
住民部門
 個人やNPOなどの民間団体など、一般住民からの応募を対象
- 
企業・学校部門
 企業、学校、公益法人などからの応募を対象
- 
行政部門
 行政機関(国及び地方公共団体、公団・公社を含む)からの応募を対象



「地域のデザイン」を、住民自治で!



世界農業遺産「清流長良川の鮎」として認定されるまでの川づくりから遺産保護と清流長良川を後世に引き継ぐ「川づくり」を目指す。



エコミーティング
～地域から頼られる建設会社を目指して～



官民協働で作って行く
フラワーパーク江南



子どもたちのいっぱいの笑顔、オクシズの魅力アップをめざすオヤジたちの心意気

CONTENTS

第17回「中部の未来創造大賞」について	1
大賞	
[住民部門] 「地域のデザイン」を、住民自治で!	3
優秀賞・中日新聞社賞 ※同時受賞	
[住民部門] 官民協働で作って行くフラワーパーク江南	5
優秀賞	
[住民部門] 子どもたちのいっぱいの笑顔、オクシズの魅力アップをめざすオヤジたちの心意気	7
[企業・学校部門] エコミーティング ～地域から頼られる建設会社を目指して～	8
中部経済連合会賞	
[住民部門] 世界農業遺産「清流長良川の鮎」として認定されるまでの川づくりから遺産保護と清流長良川を後世に引き継ぐ「川づくり」を目指す。	9
選考を終えて(表彰委員より)	10
第1回～16回の主な受賞活動	11

「地域のデザイン」を、住民自治で!



美麻地域づくり会議

〒399-9101 長野県大町市美麻11810 番地イ
TEL 0261-29-2311
URL <http://miasa.info/>

市町村合併協議を通じて、平成16年から、旧美麻村の国際交流事業のボランティアを中心として始まった活動に、地域全体で自治組織の制度設計を行い、平成18年に地区内の自治会、公民館、学校PTA、保育園保護者会、農業団体、地区社協、企業、ボランティア団体等、趣旨に賛同する45の団体と個人により設立されました。

美麻地域づくり会議は、住民に共通する「この地で心豊かに暮らしたい」という思いを持続可能な地域づくりの原動力に

1. 地区全体で行なう行事等の実施に協力しよう。
2. 地域で困っていることはお互いに理解し解決しよう。
3. 行政が伝えきれない地域の情報を発信しよう。
4. 美麻の将来に何が必要か考えよう。

を活動目標に行政と協働した地域づくり活動を行っています。

【具体的な活動内容】

- ・ 住民が学校運営や授業に参加し、地域の子を育てるコミュニティスクール活動(美麻市民科、ジビエ給食)
- ・ 地域の景観保全について遊休荒廃農地減少活動(棚田再生活動、ひまわり5000本プロジェクト等)
- ・ 住民自らが地域情報を発信する住民ディレクター活動(広報誌発行、HP運営、地域番組の制作等)
- ・ 交流人口増加と住民交流を一緒に行う道の駅活性化イベント「美麻市」の開催
- ・ 地域の伝統文化を継承する活動(麻文化伝承活動、地区の祭囃子復活)
- ・ 移住・定住人口の増加につながる活動(パンフレット、ガイドブック作成)



地域と学ぶ総合学習 美麻市民(いちみん)科(コミュニティスクール)



手作りの和太鼓で国際交流(メンドシーノ交流事業)



手すきの麻和紙で卒園証書づくり(麻文化伝承活動)

官民協働で作って行くフラワーパーク江南



フラワーパーク江南友の会

〒483-8414 愛知県江南市小萩町一色
TEL 0587-57-2240
URL <http://www.kisosansenkoen.jp/>

友の会は、国営木曾三川公園を管理運営する一般財団法人公園財団と協働管理で、フラワーパーク江南の運営に携わっています。「一般財団法人公園財団とより良いパートナーシップを築き、公園の企画運営に参画して、公園の来園者数の増大を図る」、「来園されたお客様とのふれあいを大切にして、楽しく癒され愛される公園作りに努力する」、「友の会の会員間のふれあいを大切にして、絆を深め日常の花壇活動や学習、イベントを通してやりがいを感じる会にする」を目的としています。

【具体的な活動内容】

- ・ 市民花壇の整備：花壇設計、花壇の植替え、肥培管理、花柄摘み、除草等。
- ・ 通常イベント：自然工作体験・料理・和菓子・園芸教室、自然観察会他の企画運営。
- ・ 季節イベント：春夏秋冬のガーデンパーティ、桜まつりの際に友の会企画運営として子供の縁日、皿回し大会、昔遊び体験等の実施。
- ・ 環境保全活動：準絶滅危惧種(愛知県指定)カワラサイコの保全等の活動。
- ・ 公園拡張：Ⅱ期エリアの開園に向けて利活方法についての検討。



市民花壇植栽(ボーイスカウトと共に)



江南わんごソーメン大会



子供の縁日



子どもたちのいっぱいの笑顔、
オクシズの魅力アップをめざすオヤジたちの心意気



うしづま水辺の楽校世話人会

〒421-2106 静岡県静岡市葵区牛妻2095-3
TEL 054-294-0136
URL <http://lovely-tomato.wix.com/papa007>



安倍川河川敷に整備された「うしづま水辺の楽校」を中心として維持・管理・運営に関する奉仕活動を行い、多くの自然に関心を持つ人々の体験を通じて安倍川に対する理解を深めることを目的に活動しています。子どもたちの夏休み期間に「水辺の楽校」を開校して、「来校者の安全確保のための監視活動」「清掃活動」のほか、「環境学習」「河川愛護、河川安全利用の啓発」を行っています。また、開校期間外も年間を通じて、施設並び周辺の堤防、高水敷の除草、清掃等を行い、魅力ある地域づくりのため活動しています。

【具体的な活動内容】

- ・「うしづま水辺の楽校(夏休み期間中)」の管理運営(安全監視活動、安全利用及び環境教育等)を実施
「水辺の楽校プロジェクト」の代表的事例として、各方面からの先進事例の視察などが多く、平成20年から継続して適切に管理を行うことで来校者も年々増えており、今や夏休み期間中で静岡市内外から2万人の利用者が訪れています。
- ・良好な水辺空間を創出するため、年間を通じて楽校敷地、「水辺の散歩道」等の周辺の河川敷の除草、整正、清掃等の維持管理を実施
水辺の楽校の施設及びその周辺の河川敷を年間通じて維持管理することで、年間通じた「周辺住民の憩い安らぎの場」になっています。
- ・地元及び他団体「賤機中桜愛護会」と協力して、安倍川堤防の桜並木の整備・維持管理を実施
- ・地元小学校への環境教育に関する出前講座を実施
- ・牛妻地区のホタル再生に向けたホタルの養殖活動を実施
近年激減したホタルの養殖を行い、施設周辺の水辺に幼虫を放流するなど「牛妻地区のホタルの再生」に挑戦し、施設並び地域の新たな魅力づくりに取り組んでいます。



炎天下の河川敷に日陰場を作り来校者の安全を計っている



アマゴのつかみ取りを通して食物連鎖の仕組みを子供達に教えている



うしづま水辺の楽校の利用状況

エコミーティング
～地域から頼られる建設会社を目指して～



株式会社 加藤建設

〒497-0044 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田下市場19番地の1
TEL 0567-95-2181
URL <http://www.kato-kensetu.co.jp/>



人や物の交流に欠かせない道路、自然災害から人々の暮らしを守る河川、人々の憩いの場である公園等の公共工事を中心に、建設業として地域に密着した活動をしています。

工事を施工するに当たっては「エコミーティング」活動として、従来通りの事業活動だけでなく、自然環境との共生の実現に向けた、保全・再生、地域住民への負荷低減工事の実施、地域コミュニティとのつながりによる密着型の環境整備を行っています。

【具体的な活動内容】

- ・「現場視察」：現場状況(自然環境、生態系、周辺施設など)を確認します。
- ・「アイデア抽出」：視察した現場において、「自然環境」「住民環境」「コミュニティづくり」を考慮し、将来的な実現の可否に係らず、自由な発想で各々のアイデアを抽出します。
- ・「実現に向けて」：抽出されたアイデアを総じて「環境提案書」を作成し、現場担当者とともに奇抜なアイデアであっても、試行錯誤を重ね、提案の実現を目指します。
- ・建設会社としての働きかけ：現場内で実施可能な場合については即座に導入し、住民との意見交換や、関係機関との連携が必要な場合は、その都度協議を実施し、着実に実現していきます。

【エコミーティングの流れ】



エコミーティングの流れ

世界農業遺産「清流長良川の鮎」として
認定されるまでの川づくりから遺産保護と
清流長良川を後世に引き継ぐ「川づくり」を目指す。



NPO法人 長良川環境レンジャー協会

〒502-0071 岐阜県岐阜市長良堤無番地
TEL/FAX 058-294-3971
URL <http://www.business1.jp/nagaragawa/>



河川清掃と啓発を主体に河川環境保全を図るため、流域の多数の住民、企業、行政、子供達等と連携し、水質・水生生物調査等環境教育活動を通して節度ある河川利用と河川愛護の精神を植え付ける活動を行うとともに、この活動を通して長良川の未来の担い手の育成と良好な河川環境を後世に引き継ぐことを目指し18年間活動してきました。そんな中、平成27年12月に長良川上中流域を範囲とする「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されました。今後、「地域の活性化と、農業遺産保護」をどうしていくかが最大の課題であると考え、環境保護活動を通じた「川づくり」を継続して進めていきます。

【具体的な活動内容】

- ・河原の清掃活動・マナー向上啓発
「美しい長良川で楽しんでいただきたい」を合言葉に、清掃活動やゴミ持ち帰りなどのマナーアップキャンペーンの実施。
- ・長良川流域連携クリーン作戦活動と流域一斉環境調査
「伊勢湾にゴミを流さない」を合言葉に源流から河口まで、流域住民・団体・企業・行政・子供達と共同して実施。
- ・長良川の「砂礫河原再生」維持管理活動
昔の長良川には白く輝く河原が広がっていました。しかし、近年河原にはたくさんの植物が生え、特に外来種の増加が目立ち、本来河原にある河原固有の在来植物が減少している。長良川らしい白く輝く河原にすべく「河原の植物観察会」を開き、外来植物の除草体験や交流を通して砂礫河原の継続的な維持管理について考えています。
- ・河川安全利用調査と啓発活動
河原利用者の増加につれて、利用モラルや川の危険性の知識不足から水難事故が多発していることから、安全利用調査とともに啓発活動を実施しています。
- ・環境教育活動(後継者育成対策等)
青少年を対象とした環境学習を通して、長良川の未来の担い手の育成と、川づくり活動維持のための取り組み。



長良川流域連携クリーン作戦活動(関市地点)



木曾三川水生生物調査(長良川・忠節橋地点)

委員長

名古屋工業大学名誉教授

山本 幸司 やまもと こうし

応募頂いた各団体の活動内容が例年にも増して多様化していることに驚くとともに、活動を支えておられる皆様の熱意を強く感じました。今回顕彰をお受けになる団体はもちろんのこと、地域の未来づくりのためにご活躍下さることを祈念いたします。

副委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

今回は住民部門からの応募に優れた活動が多く見られた。それらは、地域課題を自らのものとして取り組み、地域からの信頼を得て、周辺の組織や行政のバックアップを得て持続的な成果を挙げている。学校部門の活動を顕彰できないのは残念だが、中部各地で「新たな公を基軸とする活動が花開きつつあることを喜びたい。

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

それぞれの活動に発想の豊さを感じた。景観そのものを創成したり、こんなものがあたらみんなが喜びだろうとか、誰かがやらないといけないけれどなかなか手が出せなかったことをメンバーの協力と努力で成し遂げた活動を見せていただいた。



選考を終えて
(表彰委員より)

委員

名古屋大学大学院環境学研究所助教

高取 千佳 たかとり ちか

各団体とも、地域の個性を活かし、新しい課題に情熱を持って取り組んでおられる姿が印象的でした。特に、小学生からシニア世代の方までが、立場を超えて協働されている活動も多く、これから地域の土台として更なる発展をされることを祈念いたしております。

委員

中日新聞社事業局長

加藤 宏幸 かとう ひろゆき

受賞された団体に限らず全ての応募団体が我が地域をいかに守り、発展させていくかを考え継続的に活動の改良を重ねられています。その姿は地域住民以外にも他地域から訪れる人たちに影響を与え、中部圏全域に活動の輪が広がることを期待します。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

三浦 司之 みうら もりゆき

今回は、産学官民それぞれが、地域活性化に寄与する活動や、環境、防災など、時宜を得たテーマについて、活き活きと活動し、成果をあげられている姿が印象的でした。

今後とも、各団体が継続的に活動し、さらなる地域貢献に寄与されるとともに、これらの取組みが他地域や他団体にも展開されることを期待しています。

委員

中部地方整備局企画部長

岡村 次郎 おかむら じろう

今回の「中部未来創造大賞」には、地域住民と学校、企業などによる地域の課題と向き合い、特色を活かした創意工夫のある活動や長期間継続されている活動が見受けられました。特に、地域づくりや環境保全の活動では、地域住民と交流を深めながら、広がりのある継続的な取り組みを拝見し、地域の担い手としての熱意を感じました。

今後もみなさまの活動がさらに継続・発展していくことにより、中部の未来創造に繋がっていくことを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

公益社団法人
土木学会 中部支部

一般社団法人
中部地域づくり協会

一般社団法人
日本建設業連合会 中部支部

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

一般社団法人
長野県建設業協会

一般社団法人
岐阜県建設業協会

一般社団法人
静岡県建設業協会

一般社団法人
愛知県建設業協会

一般社団法人
三重県建設業協会

株式会社中日新聞社

後援/一般社団法人
中部経済連合会